

十戒シリーズ：第五戒 “あなたの父と母を敬え”

「神の代表を尊敬する」

出エジプト記 20:12

2017.06.25 HKJCF

1

概観

十戒の第五戒を通して、地上の家族との関係、霊的な家族との関係、親を通して神様の主権の下に庇護されている平安、社会的な権威、霊的な権威に対する正しい理解を学んでいきたい。

アウトライン

1. 戒めの中心：地上の親への尊敬
2. 戒めの範囲：霊的な親への感謝
3. 戒めの祝福：平安と自立の成長
4. 戒めの適用：神様の主権の拡張

2

1. 戒めの中心：地上の親への尊敬

- 1) 敬え：「重い、重んじる」；「あがめる」（詩篇 86:9）。教えに対して従順、愛と犠牲に感謝。
- 2) パリサイ派の解釈：コルバンを理由に親をないがしろにした（マルコ 7:9-13）。愛の関係 > 戒めを守ること（マタイ 15:4-6）。
- 3) 戒めの重要性：違反者に死刑（出エジプト記 21:17；レビ記 20:9；申命記 21:18-21）。
- 4) 家族単位の秩序：親は神様の代表。神様、御言葉、親や先輩の権威に従うように教える（箴言 13:24）。安定な社会の構築は家族から。

5

2. 戒めの範囲：霊的な親への感謝

- 1) 信仰の親：福音を通して親子関係が生まれる；生活の模範が大事（Ⅰコリント 4:14-16）。
- 2) 霊的な親としての権威：謙りを通して表現する；霊的な親の役割（Ⅰテサロニケ 2:7-12）。
- 3) 負債を負うこと：義務が生じ、救いへの感謝を表すように（ローマ 15:25-27）。
- 4) 忠告を聞くように：権威の主張に対して無力的に応じるのではなく、謙って霊的な親の忠告と勧めに耳を傾ける（ピレモン 17-19）。

4

3. 戒めの祝福：平安と自立の成長

- 1) 齢が長くなる：十戒の中で、唯一約束がついている。保証ではなく、祝福の一つ。安定かつ平和な社会がもたらす結果の一つ。
- 2) カバリング：神の庇護に入っている平安。驚のように（出エジプト記 19:4）。
- 3) 自立と使命：戒めを守り、IDをはっきり受け取り、祭司の王国、聖なる国民の使命を全うする（出エジプト記 19:5-6）。
- 4) 地の塩、世の光：違いを示し、暗闇に神の光を照らす主体性を持つ（マタイ 5:13-16）。

5

4. 戒めの適用：神様の主権の拡張

- 1) 主にあって、次世代を育成する
支配ではなく、次世代を育て、知恵や知識を伝授し、神様に対する畏れをきちんと教える（エペソ 6:4；コロサイ 3:21）。
- 2) 主にあって、先輩を尊敬する
謙って先輩やリーダーの指導を受け、忠告を聞く（Ⅰペテロ 5:5；ヘブル 13:17）。自分より重い責任を負うリーダーを支える。

6